

## 西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
西区子どもチャレンジフェスタ		西区自治連合協議会「にぎわい・文化のまちづくり」部、堺市西区			
事業目的	事業内容	活動指標	R2	R3	R4
次の世代を担う子どもたちの主体性を育て、生きる力を育む機会として、普段の生活ではできない体験に挑戦してもらおうことで、新たな発見をし、学ぶ楽しさを味わってもらおうことを目的とする	西文化会館を会場に、複数の講座を参加者が事前に選択して申し込んだ上で受講できるよう実施する。参加対象は西区在住の小学生以下の子とその保護者とする。プログラムは西文化会館内の各会場で4種類を準備し、同日に開催する。	①申込件数(申込者数)	87件(257人) ※動画形式で開催(西区サイエンスフェスティバル)	139件(339人) ※動画形式で開催(西区サイエンスフェスティバル)	107件(282人)
		②参加者アンケート満足度(大変よかった・よかったの割合)	①ダジックアース 81.3% ②ポトルキャップ地球儀 81.3% ③クロマトグラフィー 93.8%	①ビタミンC86% ②マヨネーズ88% ③豆腐86% ④冷たい世界93%	①化粧品100% ②味覚テスト86% ③防災VR 82% ④冷たい世界100%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○	子どもたちに科学や防災・食育などについて学習・体験してもらおう機会の創出につながるものであり、妥当である。	○	広報チラシの配布や当日受付を部会員が担うことで、区民が事業に関わる機会を持つことができた。また、民間企業の協力により魅力的な講座を提供することができた。	○	化粧品作りや防災VR体験など、普段はできない貴重な体験を親子一緒に取り組める機会を提供することができた。
○	講座内容の企画や当日運営を民間企業に任せることで、従来と比較して大幅なコストカットを実現しつつ、魅力的なコンテンツを提供できたため、効率的な事業と言える。				
⑤自立発展性	総合評価				
△	参加者からの満足度は高かったが、予算や会場の確保、関係団体との調整など、区民が自立して取り組むことが困難な部分も多く、今後も区民と行政が協働して実施していくことが望ましい。	○	化粧品作りや防災VR体験、液体窒素を用いた実験観察など、普段の生活ではできない体験を味わえたことが参加者からの高評価につながった。また、親子が一緒に取り組むことで、ふれあいの機会にもなった。反面、子どもの年齢によっては講座内容が難しかった、早くに来場した参加者の待機場所が無かった等の課題もあり、今後の参考としたい。		
所見					
拡充 継続 見直し 廃止	今年度は、昨年度までの「西区サイエンスフェスティバル」から改題し、科学に留まらないより広い分野を題材に、2年ぶりとなる対面形式で開催した。子どもが参加できるイベントのニーズは高く、100組を超える応募があった反面、新型コロナウイルス感染防止を念頭に、参加者数を限定し規模を抑えた開催としたため、応募者の半数程度が落選となった。アンケートでは「子どもが新しい発見をできた」「子どもがとても楽しんでた」等の好意的な意見が多く、参加体験型事業の良さを改めて確認できた。親子を対象とした当事業は全体としては満足度が高い事業であり、継続が望まれる。次年度以降、官民の連携や開催時期・回数の見直しも視野に入れつつ、より多くの区民に楽しんでもらえる事業となるよう検討していきたい。				